

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月22日

【評価実施概要】

事業所番号	4592200010		
法人名	有限会社鶴嶋		
事業所名	グループホーム逍遙亭		
所在地	宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所10547-1 (電 話) 0982-82-0267		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成20年8月22日	評価確定日	平成20年9月22日

【情報提供票より】(平成20年7月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成19年9月23日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤8人, 非常勤1人, 常勤換算8.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷 金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食 円 昼食 円		
	夕食 円 おやつ 円		
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(平成20年7月26日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	3	要介護2	2
要介護3	3	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 83 歳	最低 76 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	五ヶ瀬町立国民健康保険病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成19年9月23日に開設されたグループホームで、五ヶ瀬町の恵まれた自然環境の中、高台に位置し、新築の施設内は明るく、随所に温かい配慮がなされており、居心地のよい空間が出来上がっている。「その人らしさの尊重」「一人ひとりのペースに合わせたサポート」を理念とし、全職員の認知症ケアに対する熱い思いが伝わってくるグループホームである。施設長は、職員を積極的に研修に参加させるなどサービスの質の向上に熱心に取り組んでおり、地域の指導者としても活動している。利用者の希望、意向を尊重するケアは、利用者の穏やかな表情を生み、家庭的な環境をつくりあげている。また、毎日旬の食材を多用した心づくしの食事が提供されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 今回は初めての外部評価である。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全ての職員が、自己評価の意義を理解しており、全員で話し合いをしながら取り組んでいる。評価項目を、ケース検討の参考にすることで、自己評価を活用している。また、サービスの質の向上に役立てている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 平成20年1月に行われた1回目の運営推進会議では、運営方針、理念、サービス提供の状況等の報告及び規則の承認等であった。2回目となる7月の会議では、利用者の状況、サービス提供の状況報告等である。討議内容については、管理者から職員に報告し、全員が情報を共有して、サービスの質の向上に生かしている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 現在、家族会は存在しない。今年の秋に初めての家族会を予定している。日ごろから、家族等とのコミュニケーションを大切にしており、意見や苦情、不安等を受け付ける体制を整えている。家族に、行事への参加を呼びかけて意見や要望を出しやすい雰囲気作りに努めている。開設して11か月であるが、意見や要望は今のところ出ていない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会、老人会には加入していないが、地域の一員として地元の祭り等には積極的に参加している。また、近隣地区の中学生の訪問を受け入れるなど地域の人々との交流に努めている。利用者が、通学する児童の見守り等で能動的に社会参加をして地元に貢献するには、施設が高台にあるため地理的に難しい面も多いが、模索中である。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしさの尊重」「一人ひとりのペースに合わせたサポート」を基本に、地域との交流を図り、家庭的な環境の下で、利用者が安心と尊厳のある生活を営むことができるように支援する内容の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、話し合いの時間を日常的に設け、理念を共有し、実践に向けて積極的に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一員として、地元の祭りに参加したり、近隣地区の中学生の訪問を受け入れるなど、地元の人々との交流に努めている。自治会、老人会には加入していない。	○	自治会、老人会に加入して地域の活動に参加することは、地理的に難しい面もあるが、利用者の社会参加による地元への貢献について、取り組みを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全ての職員が評価の意義を理解し、自己評価については、話し合いをしながら全員で取り組んでいる。また、評価項目を参考にしながら、改善に取り組んでいる。なお、外部評価は、今回が初めてである。		

宮崎県五ヶ瀬町 グループホーム逍遙亭

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、報告や話し合いが十分に行われている。討議内容は、管理者から職員に報告され、全員が情報を共有して、サービスの向上に生かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長は、役場に頻繁に足を運び、積極的に担当者で話し合いをし、認知症について理解を深めてもらうための努力をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等に対して、3か月に1回の割合で報告をしている。内容は、利用者の暮らしぶりや金銭管理等に関するもので、きちんと作成されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日ごろから、家族等とのコミュニケーションを大切にし、意見、不満、苦情、相談等を受け付ける体制を整えている。今年の秋に、初めての家族会を予定している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新設であるため、職員の異動は少ない。今年9月に管理者が交代する予定であるが、全職員が、利用者へのダメージを防ぐための対応を考えている。事業所ではホームヘルパー実習生を受け入れており、異動等による利用者への影響については、認識している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じ て育成するための計画をたて、法人内外 の研修を受ける機会の確保や、働きなが らトレーニングしていくことを進めている	職員には、研修を積極的に受講させ、職員 の質の向上に努めている。また、施設長が地 域の指導者として活動しており、職員に対 しても、日常業務の中で指導している。職員を 育てる取り組みはしっかりしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業 者と交流する機会を持ち、ネットワーク づくりや勉強会、相互訪問等の活動を通 じて、サービスの質を向上させていく取 組みをしている	県北地区の同業者等との交流を頻繁に行っ ており、情報交換により、サービスの質の向 上に努めている。また、医療機関との交流も 進めており、医療に関する知識の習得にも取 組んでいる。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービス を利用するために、サービスをいきなり 開始するのではなく、職員や他の利用 者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家 族等と相談しながら工夫している	契約前に、施設長が少なくとも2回は自宅 を訪問し、本人と家族に説明をしている。ま た、本人と家族には、事前に来訪してもら って、実際の生活の様子や雰囲気に触れ、食 事を共にするなどの工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場 におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽 を共にし、本人から学んだり、支えあ う関係を築いている	職員は、利用者から学ぶことが多いと認識 しており、利用者に対して尊敬の念を抱いて 介護に従事している。職員と利用者は、対 等な立場で、支えあう関係を大切にしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望を聞いて、ケアプランに取り入れている。困難な場合は、職員がいくつかのケースを例示して、本人に選択をしてもらうなどの方法で意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントでは本人及び家族から希望を聞き取り、介護計画を作成している。おむつやポータブルトイレを使用しない介護に努めるなど、利用者の尊厳を守り、利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、期間に応じた行っている。対応できない変化が生じた場合は、新たにカンファレンスを行い、現状に即した介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じた、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望に応じて、友人宅や親族宅への訪問、墓まいりなどの支援をしている。また、施設長が講師として、地域の方々に介護について話しをする機会を設けている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所と掛かりつけ医等の医療機関は、連携可能な関係を構築している。事業所の方針として、利用者の受診には日常生活及び健康状態がわかっている職員が必ず同行している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に聞き取りをして、アセスメントに記録し、方針を共有している。現在、重度化した場合は入院としているが、家族等や医療機関との話し合いを重ねて、終末期の取り組みについて検討している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを尊重する理念は、職員に浸透している。トイレ介助についても、事前に家族に了解を得ており、その姿勢は徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は、一人ひとりのペースや価値観は多様であることを理解している。日々の暮らしは利用者の希望を尊重しており、作業やレクリエーション等は強要しないようにしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、利用者と相談して決めている。専任の調理担当者が配置されており、生活の中で食事を大切に位置づけ、利用者の楽しみになっている。利用者は、準備や片づけなどに参加している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、利用者の好みに合わせて、午前でも午後でも選択できるようにしている。季節に応じてハーブ湯にするなど、工夫をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を大切にしている。外回りの掃除をする利用者には、短い「ほうき」を準備して職員と一っしょに作業をしてもらうなど工夫をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺の散歩、スーパーへの買い物、神社の参拝など、一人ひとりの希望に沿って外出支援をしている。髪のカットは、本人が出かけることを重視している（外出の機会を増やして、地域の人々と交流するため）。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ鍵をかけている。居室や日中の玄関は鍵をかけないで、開放的なグループホームである。全ての職員が見守りをし、施設の設計も工夫されている。		

宮崎県五ヶ瀬町 グループホーム逍遙亭

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	指導を受け、研修にも参加しているが、利用者の避難訓練は実施していない。	○	高台にあり、民家との距離もあるため、利用者が避難できる方法を身につける必要がある。早い機会に、避難訓練を実施することをお願いしたい。また、地域の人々への働きかけもお願いしたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員が利用者といっしょに食事をしながら一人ひとりの摂取量を把握し、支援をしている。摂取量の少ない人、過多の人それぞれに対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	新築ということもあり、よく配慮した設計がされている。居間に設置されている大型の薪ストーブの暖炉は、寒冷地の生活を温かく見守っている感じである。風鈴、茶葉を利用した香など、季節感と心地よさを大切にしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入り口には、手作りの表札、のれんがかけられている。室内には、美しい風景のカレンダーや家族写真、持ち込みのタンスなどが置かれている。本人の好みでベッドまたは畳が選択でき、よく配慮されている。		

※  は、重点項目。